



菜園 図書館ボランティアだより

第12号

きずな 2012年2月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

マグソバネ

目次

| | | |
|------------|--------------------------|---------|
| 自由＊空間 | 「阪南市と神武天皇 ②」「人が幸せを感じる時②」 | ・・・ P 2 |
| ご存知ですか | 「配架と月末資料整理」 | ・・・ P 2 |
| 私のおすすめ | 『おひとり奈良の旅』『バルト海のほとりにて』 | ・・・ P 3 |
| | 『ゆうかんなアイリーン』 | ・・・ P 3 |
| 図書館からのお知らせ | | ・・・ P 4 |



司馬遼太郎記念館を訪れて



1月下旬の小雨がぱらつく肌寒い日、広報部会の有志5名は、東大阪市にある司馬遼太郎記念館を訪れました。記念館は、雑木林風の庭の中、ご本人の自宅の横にありました。建築家 安藤忠雄氏の設計の現代的な建物の中に、高さ11メートルの壁面いっぱいに取り付けられた書棚に2万余冊の蔵書、小ホールと展示コーナーがありました。隣の自宅には、生前のままの書齋と自著本も含めて6万冊ほどの本が家の中に一杯に詰まっている様子をガラス戸越しに伺うことができます。展示コーナーでは、開館10周年記念企画として『坂の上の雲』に描かれた日本海海戦の資料が展示されていました。

司馬遼太郎氏は、「日本人とは何か」をテーマに歴史を深く探求し、日本の素晴らしい歴史と人物などを、敗戦でみじめさを味わった22才の自分への手紙というかたちで著し、『竜馬がゆく』、『翔ぶがごとく』や『街道を行く』など数多くの優れた作品を生み出しています。記念館は、司馬作品との対話、自分との対話などを通じて何かを感じ取る空間でありたいとのことでした。

『坂の上の雲 Ⅷ』のあとがきの中で、次のように書いています。「日露戦争後、日本はきわどい勝利をひろったにもかかわらず、勝利を絶対化し、神秘的強さを信仰するようになり、民族的に痴呆化した。国民的理性が大きく後退して狂躁の昭和期に入り、太平洋戦争をやったのけて敗北した。敗戦が国民に理性をあたえ、勝利が国民を狂気にさせるとは不思議なものである。」(一部抜粋)

記念館を見学しながら、司馬遼太郎氏は現状の日本をどのように観るであろうかと考えました。日本は、戦後の経済的活動により経済大国に成り上がりましたが、精神的には退廃化し政治や官僚機構は劣化し、東日本大震災や原発事故に遭遇し大きな試練に遭っています。過去日本人は大きな困難に出会うと、優れた理性と忍耐力を発揮して乗り越えてきましたが、今回はどのように対処するのでしょうか？ 司馬遼太郎氏は必ずここに注目するにちがいありません。その期待を裏切らなければよいかと願いながら、記念館を後にしました。

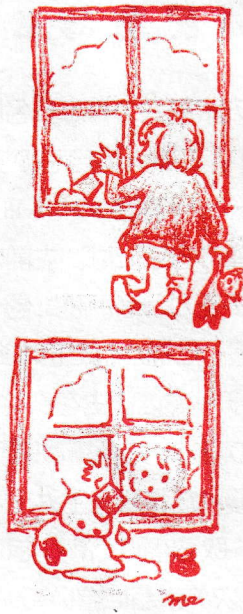
2月12日は命日であり、ご本人が好きだった菜の花に因んで菜の花忌として、記念館小ホールで上村洋行館長のトークが行われます。酒井一夫



前号の続き。何と言っても幸せを感じるのは何処の国でもどんな人でも、美味しい物を食べる時だ。中国に赴任している時にも彼らの食文化には何度も感心させられた。一般的に中国人は「四足は机椅子以外、空を飛ぶものは飛行機以外は食べる」と言われていた。市場へ行くと豚肉は切り株のまな板の上で好きなだけ切り取ってくれる。鶏、蛇、カエルなどは生きたまま。南方ではサソリをタライに一杯入れて、金魚すくいの様にドンブリ風の器に、買う人が生きの良いのを掬う。勿論田舎の市場での話だが、レストランではまるで水族館の様に食材を見せて客に選ばせるのだ。客の注文は日本人よりずっとうるさい。イキはいいか、いつとれたかとかオーダーに時間を十分にかける。田舎の一般庶民の食事は、洗面器風の丼ご飯に野菜炒めや豚肉を乗せただけのご飯を立てて食べる。歩きながらも、トイレでも・・・。日本からの進出企業が従業員の転職を防ぐには、決して賃金ではなく美味しい食事を十分に提供する事だ。それが一番の幸せであろう。(次回乞ご期待)

前口 等

自由 * 空間



「ナナツカ参り」は神武天皇腰掛石を含む七つの「ツカ」をめくり祀る伝統行事であるものと思われたが、男神社の神主さんに、「ナナツカ参り」について取材したところ、詳しい記録は焼失してしまつてわからないということであった。しかし、言い伝えによると、神武天皇東征の折、従者が男里に七人残り、その彼らの墓が「ナナツカ」だという。では、神武天皇腰掛石は従者の墓なのか。

そこで、他の六つの「ツカ」について調べることにした。すると、現存する「ツカ」は阪南市の和泉鳥取の田畑に一基、平野台の北端にある長楽寺境内に一基。それと、泉南市の回転寿司店「喜十郎」の駐車場北側外の田畑に一基。合計三基だけ確認できた。しかし、四基は不明。これは、どうということなのか。

次回は、現存する「ツカ」について考察し、神武天皇腰掛石ほかの謎に迫りたいと思う。

中川義朗



《ご存知ですか》

配架と月末資料整理



「配架」とは、返却されてきた本や雑誌を図書館の書棚に戻す作業です。開館前一時間の短い時間に毎日行われるのが朝の配架です。また、迷子になっている本を月末にまとめて整理するのが月末資料整理です。図書館の書架と資料を利用しやすい状態に保つためにも、月末資料整理は欠かせません。また、資料や書架の乱れで利用頻度を知る機会にもなります。作業日と時間の選択肢が多いので、より本に親しむきっかけとなります。あなたもサポートに参加しませんか！

作業設定時間：①朝配架

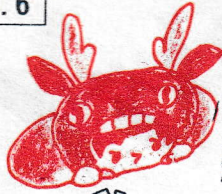
9時～10時

②月末資料整理 10時～12時、13～15時(月末の指定日)

ミス Sumiko

終戦の前年に生まれたとはいえ、戦争体験の記憶は全くなく、戦争とは私にとって映画や映像、本で知る想像の世界のでき事です。

この本は一九八五年に出版されました。その後NHKドキュメント番組「日米開戦不可ナリ」で小野寺機関(日本陸軍の諜報工作機関)が放映され、またアメリカ、イギリス等の公文書が公開されたこともあって加筆され、二〇〇五年に再改訂出版されました。副題として「武官の妻の大東亜戦争」とあるように、軍人の家庭に生まれ軍人と結婚して戦争中をバルト三国、スウェーデンを中心に勤務する夫と共に戦った妻の終戦直後までの自叙伝です。恥ずかしいことですがこの本を読むまで海外での外務省、商社とは別に陸海軍の武官の生活があることを知らなかった私は一つ一つ教えられ、驚きの連続でした。生活の中にも戦争があった祖父、父母たちの明治、大正、昭和前半の生活を忘れてはならないと思わされた本でもあります。この本を手にとったのは、ムーミンの本やバスコフの絵本の訳者である小野寺百合子さんを知りたいと思ったからです、それを遥かに超えて私にとっては宝物の一冊となりました。



私のおすすめ



黒見泰子

まず文庫本というサイズが旅にぴったり。(なんと書下ろし)

ガイドブックであり、読み物として楽しめ、エッセイの柔らかさも持ち合わせているという「こんな本、待ってました!」という感じ。

著者は奈良生まれ、幼稚園から大学まで奈良で過ごし、地元雑誌の編集者を経て、現在は社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボの研究員。(市民団体の支援などをしている) ページを繰っていると、奈良に住み、奈良を愛し、子育てをしながらも、奈良に夢中になっている彼女と歩いている気がしてきます。まだ行ったことがない地域に思いを馳せたり、すでに行ったところでもそうだったのかと、再度訪ねてみたくなります。水ぬるむ季節、この本をポケットに入れて、あなたはおひとりでかけますか。それともおふたりで?

渡久地紀子

《児童書》

『ゆうかなアイリーン』 ウィリアム・スタイグ/著

おがわえつこ/訳 セーラー出版 E

私は冬のこの時期になると、園児から小学2年生位の子どもたちに読む本が「ゆうかなアイリーン」です。この絵本は女の子の主人公が、雪や強風と戦いながらお母さんが作ったドレスを遠いお屋敷まで届ける様子が描かれています。スタイグさんのどの作品も好きですが、特にお母さんに対する思いやり、困難に立ち向かう勇気、最後までくじけずやり通した後の達成感などを味わえる絵本です。そして線画に色付けされた絵は、作者ならではの表現方法で雪景色や人物(特に目の表情)が描かれています。他に「ロバのシルベスターとまほうのこいし」「いやだいやだのスピッキー」もおすすめです。まず大人の方にしっかり味わっていただき、その後で子どもと一緒に楽しんでほしいと思います。

釣船廣子



図書館でボランティアしませんか？

～平成24年度～

図書館フレンズ募集

老後・退職後に何か社会の役に立ちたいと思っている方、もう子どもの手も離れて、時間があるから何かしたいという方、学生時代にボランティアをしたい方、図書館フレンズとして活動してみませんか？はじめての方も大歓迎。誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業までいろいろあります。

主な作業は、返却本を書棚・書庫に戻す作業、本の修理・清拭・装備、児童コーナーのコルクボードへの装飾作成、リサイクル関連、広報関連等です。詳しい作業内容や時間は、「図書館フレンズ作業内容」のチラシでご覧下さい。下記の説明会で詳しく紹介した後、登録していただきますので、興味をもたれた方は、説明会への参加申し込みをしてください。



説明会日時：3月23日(金) 10:30～11:30

場所：サラダホール2階・視聴覚室

申込期間：3月1日(木)～3月20日(火) 開館時間中 (電話申込可)

* 無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。

* ボランティア保険加入予定です。

* この説明会は、新規の方(阪南市に在住・在勤・在学の方)が対象です。

お問い合わせは阪南市立図書館 TEL 072-471-9000 図書館フレンズ担当まで

杉山亮ものがたりライブ 絵本作りワークショップ

図書館では阪南市子ども文庫連絡会と共催でイベントを開催します。児童文学者の杉山亮(あきら)先生にお越しいただける事になりました。皆さまふるってご参加ください。

日時 3月20日(火・祝)

ものがたりライブと講演 午前10時～11時30分

絵本作りワークショップ 午後1時～2時30分

対象 小学生以上、親子参加歓迎

場所 サラダホール・小ホール

参加費 無料(整理券優先) 午前200枚・午後80枚

整理券 3月2日(金)から図書館カウンターにて配布

(なくなり次第終了)

問い合わせ 阪南市立図書館 TEL 072-471-9000

